

1. 学校教育目標

- | |
|--|
| ①常に成長を目指し努力し続けられる人物（自立）
②世界で活躍できる能力を有した人物（挑戦）
③謙虚に自分を見つめ喜んで奉仕できる慈愛に満ちた人物（奉仕） |
|--|

2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自らを律し、他と協調し、他を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った生徒を育てる。 ・6年間で大人になるための準備期間として、責任ある市民として自己決定・自己判断ができるよう論理的に突き詰めて思考する力を育てる。 ・主体性を持って行動できる生徒を育て、学習面・生活面でも他律から自律へ切り替える。 |
|--|

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
学力形成 学習指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「学ぶとは覚えることではなく考えること」をテーマに、「対話形式」の教科指導を更に発展させる取り組みを行った。具体的には、自ら得た学習の成果を分かりやすく相手に伝えるプレゼンテーション能力の向上にも範囲を広げ、その育成に力を注いだ。 ・グローバル社会への対応の一つとして、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの強化のため全学年でネイティブの授業を実施した。 ・PCをはじめとした機器を用いて、教員・生徒双方向での教材・課題の配信・提出、各生徒の進捗状況管理、グループでの意見交換などを実践し、ICTに関わる能力の向上を目指した教育に取り組んだ。
人間形成 生活指導 各学年の取組 自治活動 学外活動	グローバル社会で必要とされるスキルを育むことを目的として、以下の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の取組 中学1年 国際理解教育、SDGs、中学2年 ボランティア、キャリアプログラム、中学3年 研究論文、高校1年 『進路から進学へ』、高校2年 『学校のリーダー』、と精神的な発達段階に合わせて活動した。 ・生徒の自治活動 生徒会・委員会・クラブ・体育祭・学園祭・など生徒が主体となって運営した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学外活動（他流試合） 教育の柱である学外交流活動を継続して実施した。コロナ禍において参加数が増えたインターネットを利用した学外活動に加えて、コロナ禍前に多くの生徒が参加した対面での学外交流活動が再開し、300を超える活動に生徒たちが挑戦した。国際哲学オリンピック、科学の甲子園ジュニア、高校生ビジネスプラングランプリ、日経ストックリーグ、物理チャレンジ、エコノミクス甲子園など様々な分野で活躍した。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を定期的実施し、生徒の状況をより良く知ってもらい、学校の方針についての理解も深めてもらった。 ・学年通信を月1回程度発行し、連絡事項の徹底、生徒自らの言葉で語る行事報告など学校と家庭の結びつきを強めた。 ・ホームページにて、一般の方々にも学校のことを理解してもらえよう学習面・生活面についての記事を、原則平日に毎日掲載し、常に最新の情報をトピックスとして発信した。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校管理システムにより生徒の登下校の状況を把握し、生徒の安全を図った。 ・いつ起こるか分からない災害への備えとして、避難訓練を4月と9月に実施した。 ・年3回の施設点検実施により施設の保守を行い、安全管理を行うとともに快適な環境整備を実施した。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・8月と3月に全教職員を対象とした校内研修を実施した。中学入試から大学入試に至るまでの校務主任を講師とした研修、グループに分かれての学力形成、人間形成に関するワークショップを実施するなど、多岐に渡る研修の機会となった。 ・Google Certified Educator LEVEL1 及び LEVEL2 の取得を目指した研修を8月に実施した。 ・新任教員に対し校長・管理職・校務主任・学年主任・担任を講師として年間にわたり新任教員研修を実施した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防に万全を期した上で、体育祭、彩羽祭（文化祭）を、来場者を招いて開催した。宿泊研修に関しては、中学1年のHR研修から高校2年の修学旅行に至るまで、各学年全て通常プログラムで実施した。また、昨年度まで中止としていた部合宿なども平常通りに実施した。国際交流については、ジャパンメトロポリタン模擬国連大会をオンラインと対面のハイブリッド方式で開催した。また、海外研修・留学プログラムについてはアメリカ研修をはじめ一部の研修を再開した。

4. 総合的な評価結果

リニューアルした図書館に自習スペースを設け、生徒たちが自発的な学習を行えるように運営したことや、茶室を新たに設置し、日本文化の本質的な理解を通して国際社会でユニバーサルな活躍ができる能力の育成を図る取り組みを行うことなどに象徴されるように、ハードウェアの拡充とソフトウェアの充実を有機的に結び付けた取り組みを実践した。生徒の主体的な取り組みと学校の不断の教育改革によって、飛躍的な進学実績の向上を本年度も実現することができた。また、人間形成の面でも、学校行事や部活動、学外交流活動に生徒たちが能動的に参加することで、挑戦の精神が根付き、自己肯定感の向上と共に、コンピテンシー能力を大きく伸ばすことができた。